



読み聞かせ講座

▶絵本の選び方や読み方を学び、実際のおはなし会を体験して、「読み聞かせ」の楽しさを体験してみませんか。全4回の初心者向けの講座です。

日時：9月8・22・29日・10月13日（金・全4回） 午前9時30分～11時30分

募集人数：20人 募集締切：8月20日 回まで

講師：ボランティア「むかしむかし」 小貫三佐子 氏

受付方法：中央図書館カウンターにて直接、もしくは電話、ホームページにて申し込み



キャリア学習 アナウンサーってどんなお仕事？

▶アナウンサーの仕事や自分の夢の実現に興味がある中学生・高校生を対象とし、現役アナウンサーの講師をお迎えしてお話を伺います。

日時：8月22日 日 募集人数：30人

募集締切：8月15日 日 まで

講師：フリーアナウンサー 鈴木もえみ 氏（ひらけ！ポンキッキ！8代目お姉さん）

受付方法：中央図書館カウンターにて直接、もしくは電話、ホームページにて申し込み

◆こども図書館本の森

5日 日 おはなし玉手箱（午前10時～）

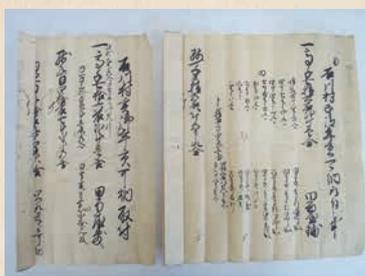
10日 日 ひよこのおはなしかい
（午前10時30分～）

19日 日 むかしむかしのおはなし会
（午前10時～）

◆郷の本棚やさど図書館

（午後2時30分～）

12日 日 おはなしフレンズ



▲左：正保4年（1647）石川村亥御年貢可納取付
右：慶安元年（1648）南石川村子御年貢可納取付之事

時の記憶

シリーズ213

「年貢割付状からわかること」

図文化振興課（支所）

Tel 43-1111（内線1456）

今回は関川文書に残された年貢割付状ねんぐわりつけじょうからどのようなことがわかるのかをみていきます。関川文書の年貢割付状は長期に渡り残っているため、同種の史料を並べることによって地域を取り巻く状況の変化がよくわかります。

わかりやすい部分でいえば、村の名称があります。旧石川村の年貢割付状をみていくと、慶安元年（1648）に村名が石川村から「南」石川村に変わっています。これは旧石川村が属した水戸藩の領内に、石川村が複数存在したことから整理されたためです。このほかにも、引高溜池などの設置や不作によって年貢が免除される分の書き方が村名変更と同時に詳細になっています。これは水戸藩の年貢収納体制が明確化したことを示しています。このように、年貢割付状をならべることで、いくつもの変化がみえる慶安元年は旧石川村に対する水戸藩の支配体制が整備されていく中の一つの画期だったということがわかります。

ふるさと歴史館第33回企画展

「土地の記録」

期間／10月1日 日 まで開催中

場所／ふるさと歴史館（総社1-2-10）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

蘭咲くや友の形見の白一途
朝ぼらけ漬けても食べぬ梅落す
夏蝶や撥打つ子らの光る顔
街灯の映す緑雨に傘を出し

やさと俳句会

せせらぎの間に舞ひけり初虫
照り曇り梔子の花愈々白
雨止むを待ちぬし如く夏の蝶
脚気なる吾よ調理師めざす頃

いしおか川柳会

ちっぽけで反面教師にもなれぬ
思い出す防空壕と焼け跡を
国会に庶民を映す鏡置く
移住する人増え地域活気づく

石岡俚謡会

少子時代に 男子が生まれ 翁は五月の 鯉談義
花に癒され 淋しき堪え 食べる一人の 手巻き寿司
うちの蛙と 隣のガマが 今日も仲良く 遊んでる
昔蛙が 鳴いてた田んぼ 今は水無し 草繁る
派手な蛙の 大合唱は 俺を励ます 応援歌
露天風呂から 上がった肌に 涼し撫でてく 青田風
今宵着は 鯉のたたき 添える彩り 青紅葉
鏡田んぼが 青田に変わる じっと見ている 筑波山

投稿作品

朝顔に「おはよう」を言う幼な子の清しさ今日の一步始まる
閑さや廃校庭のチューリップ

菅野 憲枝(南台)
小池 さき子(高浜)
四日市 ゆみ子(旭台)
若色 茂(山崎)

越智 旅舟(太田)
馬場 小零(片岡)
鈴木 恵子(瓦谷)
松崎 淑子(細谷)

岡野 はつ子(小幡)
小川 義隆(大増)
金本 優(東成井)
小林 凧(総社)

暁 夢華(総社)
福田 泰夫(東光台)
秋野 もみじ(南台)
見明 節子(若宮)
助川 浩史(府中)
篠原 美千代(国府)
香俱耶姫(南台)
坂下 蜻蛉(国府)

植木 和昭(小倉)
羽生 好之(三村)

スポーツ協会だより

第9回

「石岡市弓道会」

国府公園近くの芹澤記念弓道場（多気大掾の末裔・芹澤雄二道幹氏が昭和46年に個人で建設）にて、毎日弓道の稽古に励んでいます。市スポーツ協会に所属し、現在約40人の会員が所属しています。

八郷総合運動公園内の弓道場では、弓道審査前講習会などを開催しており、射法・射技の研修を通して体位の向上と、明るい精神、品位ある徳性を養い育て、会員相互の親睦を図っています。

新規会員育成のために、毎年8月末から週2回、計13回の初心者弓道教室を開催しています。

経験者は随時入会可能です。詳しくは、

石岡市弓道会のホームページをご確認ください▶

☎石岡市弓道会

✉ishioka.kyudou@gmail.com

